

2008年11月号
No.469

りゅうぎん調査

2008年11月号

Bank of the Ryukyus'
Okinawan Economic Review

No.469



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

県内の景気動向

概況（9月）

景気は、足踏みが続いている

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

消費関連では、新車販売台数が前年を下回る

9月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高は主力の衣料品の減少などにより引き続き前年を下回った。スーパー売上高は、既存店では前年より休日が少なかったことなどから食料品が減少し引き続き前年を下回った。全店では新設店効果などから引き続き前年を上回った。新車販売は、小型乗用車や軽乗用車などが減少したことから引き続き前年を下回った。電気製品卸売は、エアコンなどの増加により引き続き前年を上回った。建設関連では、公共工事請負金額は、国、県などの増加により前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は公共工事が増加したものの、民間工事が減少したことからほぼ前年と同水準となった。建設資材出荷・売上では、鋼材は増加したが、セメント、生コン、木材は引き続き前年を下回った。入域観光客数は、国内客、外国客ともに増加し引き続き前年を上回った。主要ホテルは、稼働率は引き続き前年を下回ったものの、売上高は引き続き前年を上回った。主要観光施設入場者数は引き続き前年を上回った。

総じてみると、観光関連は引き続き好調に推移し、消費関連は底堅く推移しているものの、建設関連は弱いことから、県内景気は足踏みが続いている。

消費関連

百貨店売上高は、主力である衣料品の減少が続いていることなどにより、2カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高（既存店）は、前年より休日が2日少なかったこと（カレンダー要因）などから食料品が減少し、衣料品も引き続き減少したことにより2カ月連続で前年を下回った。全店ベースでは新設店効果などにより、14カ月連続で前年を上回った。新車販売は小型乗用車や軽自動車などが減少したことにより4カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売は、テレビが減少したものの、エアコンやDVDレコーダーなどが増加したことから4カ月連続で前年を上回った。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県、独立行政法人等・その他の発注工事が増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は増加したものの、民間工事が減少したことから前年とほぼ同水準となった。建設資材関連では、セメント、生コンともに2カ月連続で前年を下回った。鋼材は単価の上昇から2カ月ぶりに前年を上回った。木材は改正建築基準法の影響が引き続きみられたことなどから15カ月連続で前年を下回った。

観光関連

入域観光客数は、8カ月連続で前年を上回った。国内客は5カ月連続で前年を上回った。外国客は香港からの集客が好調に推移し、引き続き前年を上回った。県内主要ホテルは、稼働率はリゾートが上昇したが那覇市内が引き続き低下したことから、2カ月連続で前年を下回った。売上高は、那覇市内、リゾートともに増加し、3カ月連続で前年を上回った。主要観光施設の入場者数は7カ月連続で前年を上回った。主要ゴルフ場は入場者数、売上高ともに前年を下回った。

雇用関連

新規求人数（8月）は前年同月比19.7%減となり9カ月連続で減少した。有効求人倍率（季調値）は0.37倍と前月より0.02ポイント低下した。完全失業率は7.4%となり、前年同月より0.1ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（総合、8月）は、食料、光熱・水道、交通・通信などが上昇したことから、前年同月比2.8%の上昇と11カ月連続で前年を上回った。企業倒産は、件数が12件と前年同月より8件増加し、負債総額も30億3,000万円となり前年同月比559.8%の増加となった。

りゅうぎん調査(2008年9月)

増減率(%)

| | 前年同月比 | 前年同期比 (2008.7 - 2008.9) |
|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 1.消費関連 | | |
| (1)百貨店(金額) | 6.2 | 2.3 |
| (2)スーパー(既存店)(金額) | 2.3 | 1.0 |
| (3)スーパー(全店)(金額) | 0.4 | 1.3 |
| (4)新車販売(台数) | 7.7 | 3.7 |
| (5)電気製品卸売(金額) | 2.2 | 5.3 |
| 2.建設関連 | | |
| (1)公共工事請負金額(金額) | 22.6 | 10.2 |
| (2)建築着工床面積(m ²) | (8月) 32.1 | (6-8月) 5.7 |
| (3)新設住宅着工戸数(戸) | (8月) 11.7 | (6-8月) 11.6 |
| (4)建設受注額(金額) | 0.7 | 15.1 |
| (5)セメント(トン数) | 9.0 | 7.0 |
| (6)生コン(m ³) | 6.8 | 3.8 |
| (7)鋼材(金額) | 13.8 | 6.7 |
| (8)木材(金額) | 10.1 | 9.2 |
| 3.観光関連 | | |
| (1)入域観光客数(人数) | 1.2 | 4.1 |
| (2)県内主要ホテル稼働率 | (前年同月差) 2.2 (実数) 85.1 | (前年同期差) 2.1 (実数) 82.8 |
| (3) " 売上高(金額) | 0.5 | 2.6 |
| (4)観光施設入場者数(人数) | 3.3 | 7.5 |
| (5)ゴルフ場入場者数(人数) | 0.2 | 6.9 |
| (6) " 売上高(金額) | 6.8 | 0.9 |
| 4.その他 | | |
| (1)県内新規求人数(人数) | (8月) 19.7 | (6-8月) 16.7 |
| (2)有効求人倍率(季調値) | (実数、8月) 0.37 | (実数、6-8月) 0.39 |
| (3)消費者物価指数(総合) | (8月) 2.8 | (6-8月) 3.0 |
| (4)企業倒産件数(件数) | (前年同月差) 8 | (前年同期差) 6.3 |
| (5)広告収入(県内マスコミ)(金額) | (8月) 7.9 | (6-8月) 7.0 |
| (6)電力使用量(百万Kw) | (8月) 1.0 | (6-8月) 1.4 |

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

(注2) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

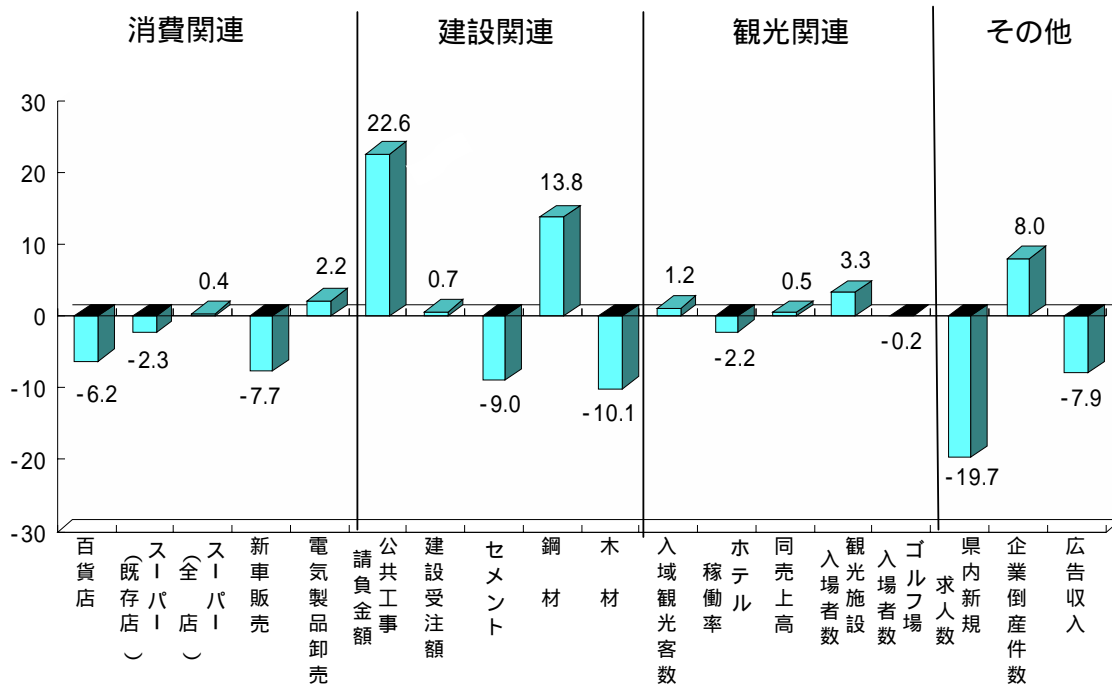
(注3) 電気製品卸売販売額は、2007年6月より調査先を10社から9社へと変更した。

(注4) 主要ホテルは、2008年8月より調査先を19ホテルから18ホテルとした。

(注5) ゴルフ場は、2006年10月より調査先を9ゴルフ場から8ゴルフ場とした。

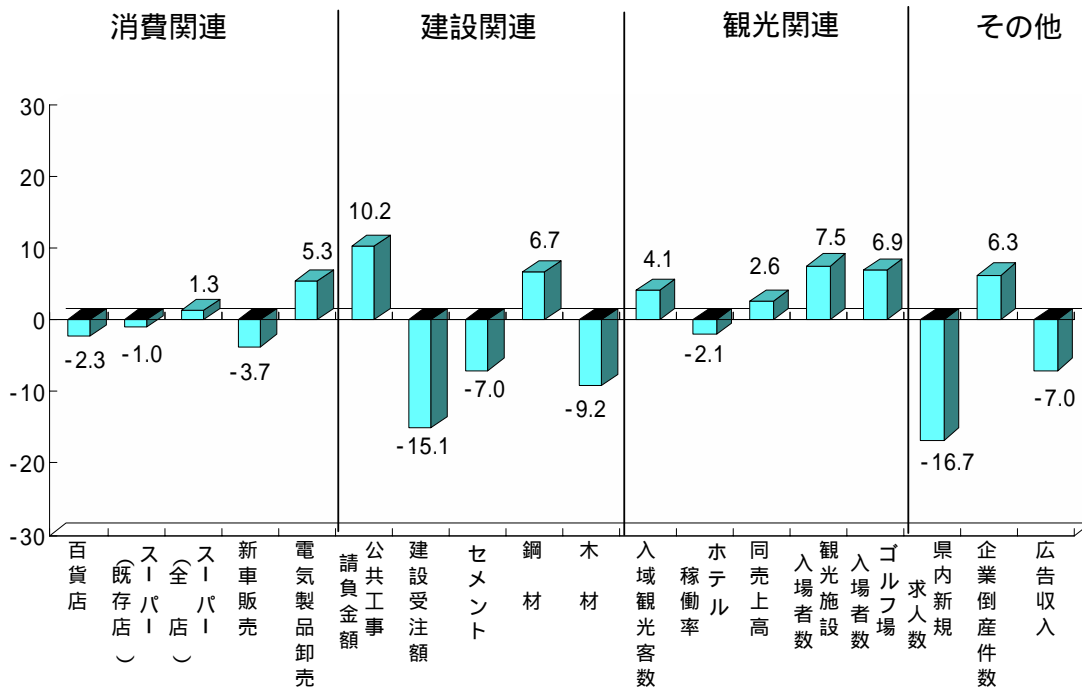
(注6) 木材は2008年1月より建材から名称を改めた(木質建材が主であることから)。

項目別グラフ(単月、2008年9月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は08年8月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

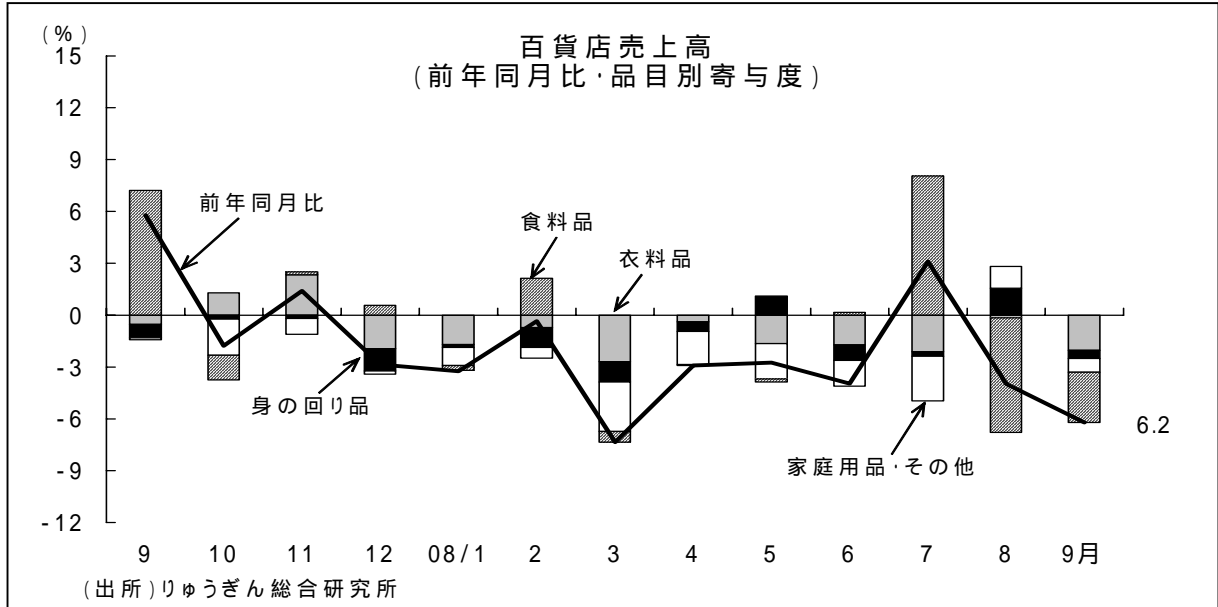
項目別グラフ(3カ月、2008年7~9月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は08年6~8月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

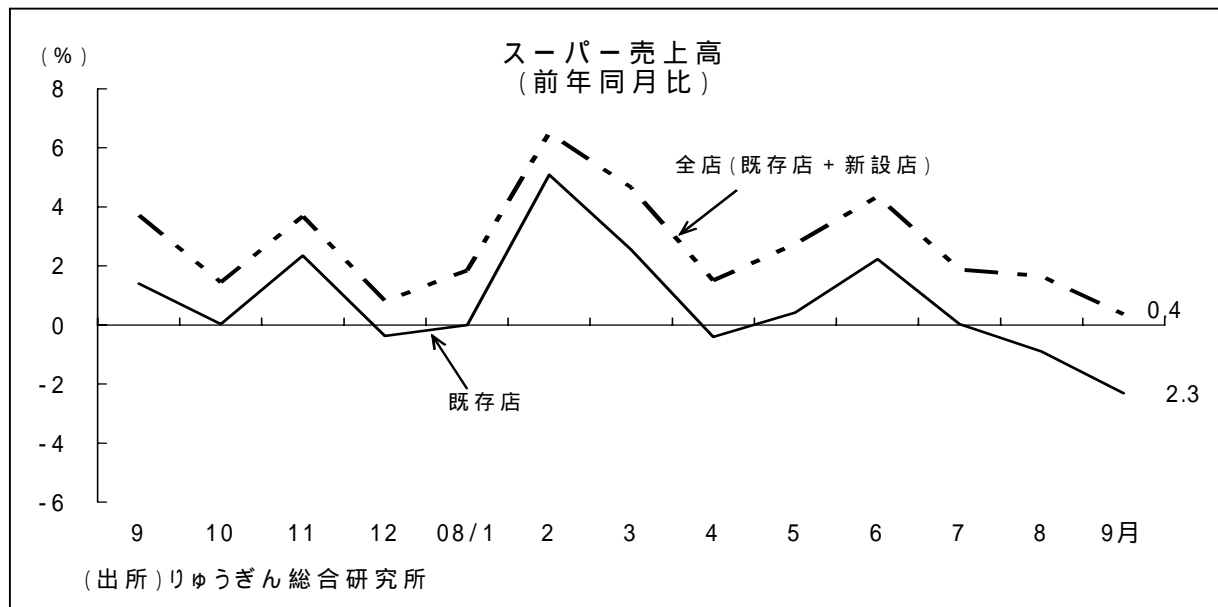
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で減少



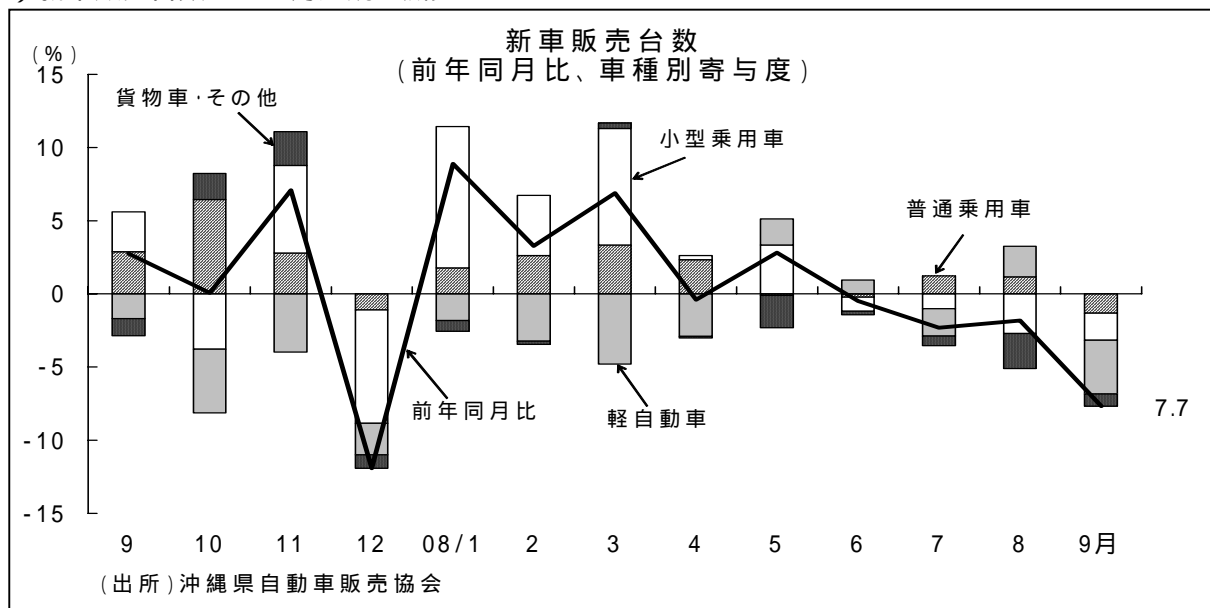
- 百貨店売上高は、主力である衣料品は減少が続いており、さらに集客効果の高い食料品の催事の開催時期が前年よりも後にずれたことなどから食料品が減少し、前年同月比 6.2%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品（同9.4%減）、衣料品（同5.5%減）、身の回り品（同4.5%減）、家庭用品・その他（同4.9%減）ともに減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは14カ月連続で増加



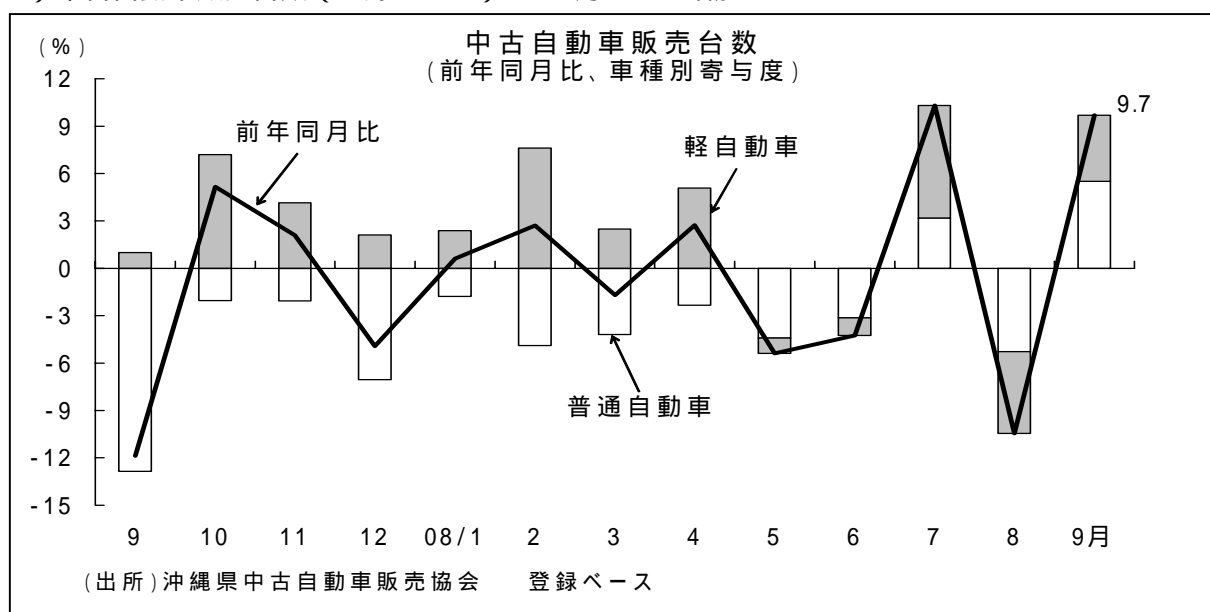
- スーパー売上高は、既存店ベースでは2カ月連続で前年同月を下回った。
- 食料品は前年より休日が2日少なかったこと（カレンダー要因）から同0.6%減となり、衣料品は同9.7%減となった。
- 全店ベースでは新設店効果により同0.4%増と14カ月連続で増加した。

(3) 新車販売台数：4カ月連続で減少



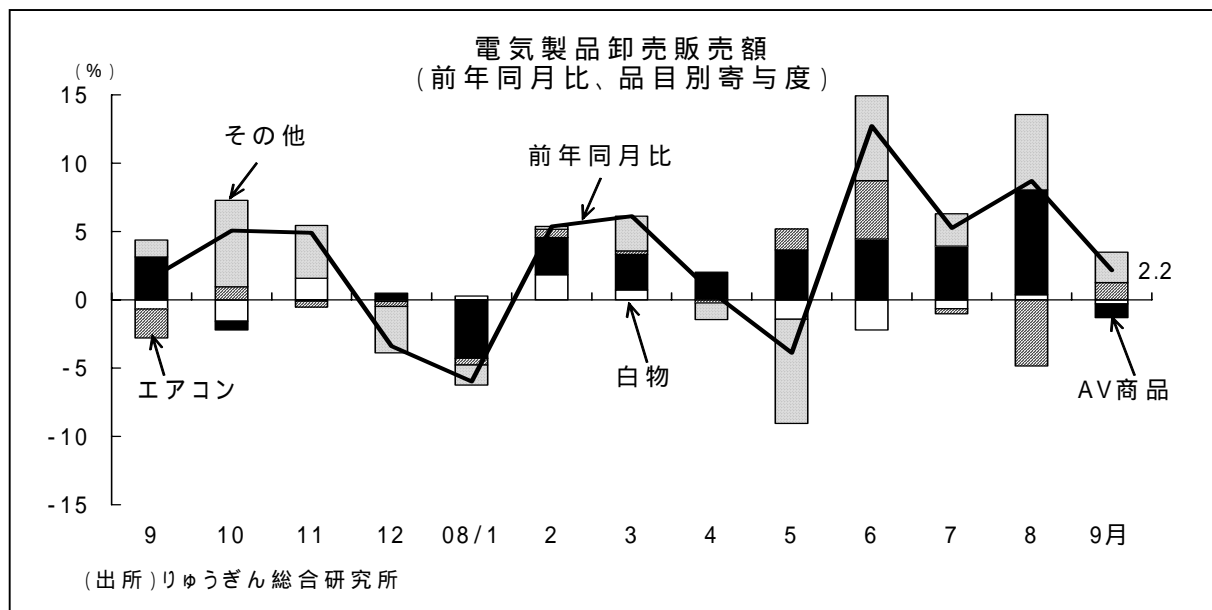
- ・ 新車販売台数は 3,063 台となり、普通乗用車や小型乗用車、軽自動車が増加したことから前年同月比 7.7% 増と 4 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は 992 台（同 9.6% 増）で、うち普通乗用車は 289 台（同 13.2% 増）、小型乗用車は 703 台（同 8.0% 増）であった。軽自動車（届出車）は 1,870 台（同 8.1% 増）で、うち軽乗用車は 1,596 台（同 7.1% 増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2 カ月ぶりに増加



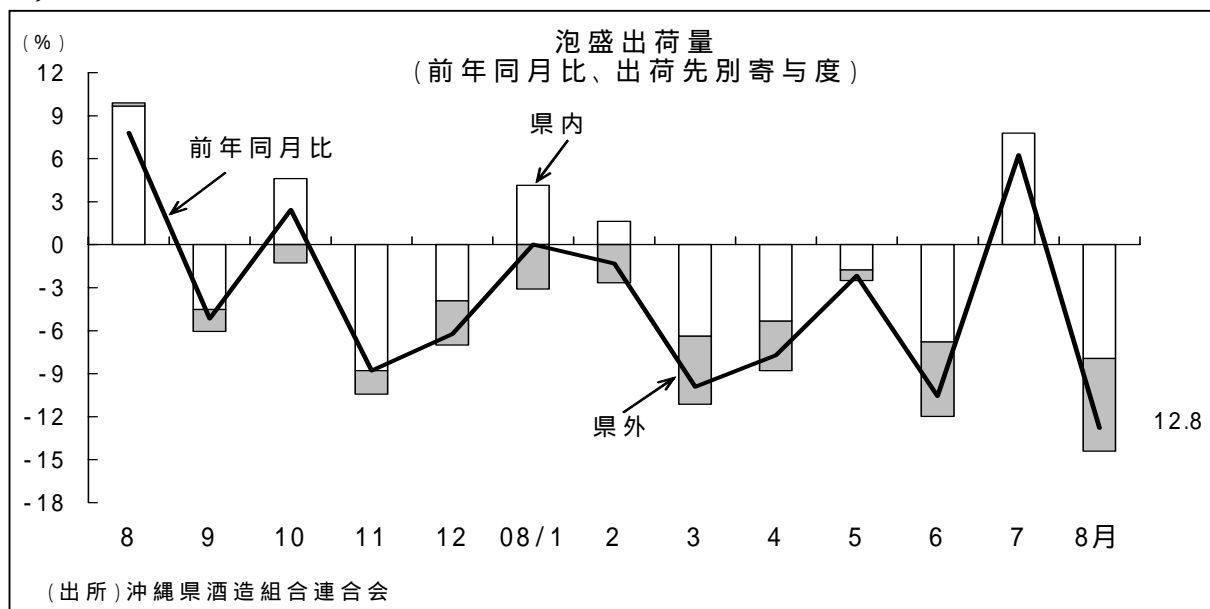
- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、前年同月比 9.7% 増となり 2 カ月ぶりに前年を上回った。内訳では、普通自動車は同 12.4% 増、軽自動車は同 7.6% 増とともに増加した。

(5) 電気製品卸売販売額：4 カ月連続で増加



- ・ 電気製品卸売販売額は、テレビがオリンピックや新設店効果の需要増の反動により減少したものの、エアコンやDVDレコーダーなどが好調に推移したことから、前年同月比 2.2%増と4 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同 9.6%減、DVDレコーダーが同 39.4%増、白物では洗濯機が同 12.6%減、冷蔵庫が同 4.7%増、エアコンが同 31.9%増、その他は同 2.4%増となった。

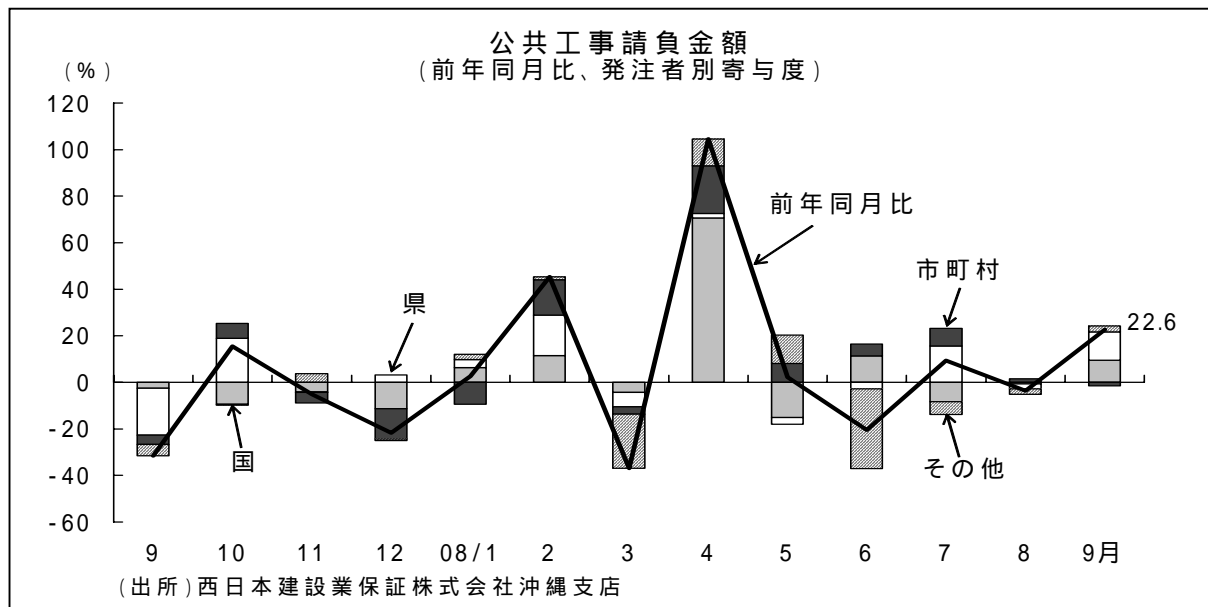
(6) 泡盛出荷量：2 カ月ぶりに減少



- ・ 泡盛出荷量(8月)は、前年同月比 12.8%減と2 カ月ぶりに前年を下回った。県内出荷量は同 7.9%減となり、県外出荷量は同 31.8%減となった。

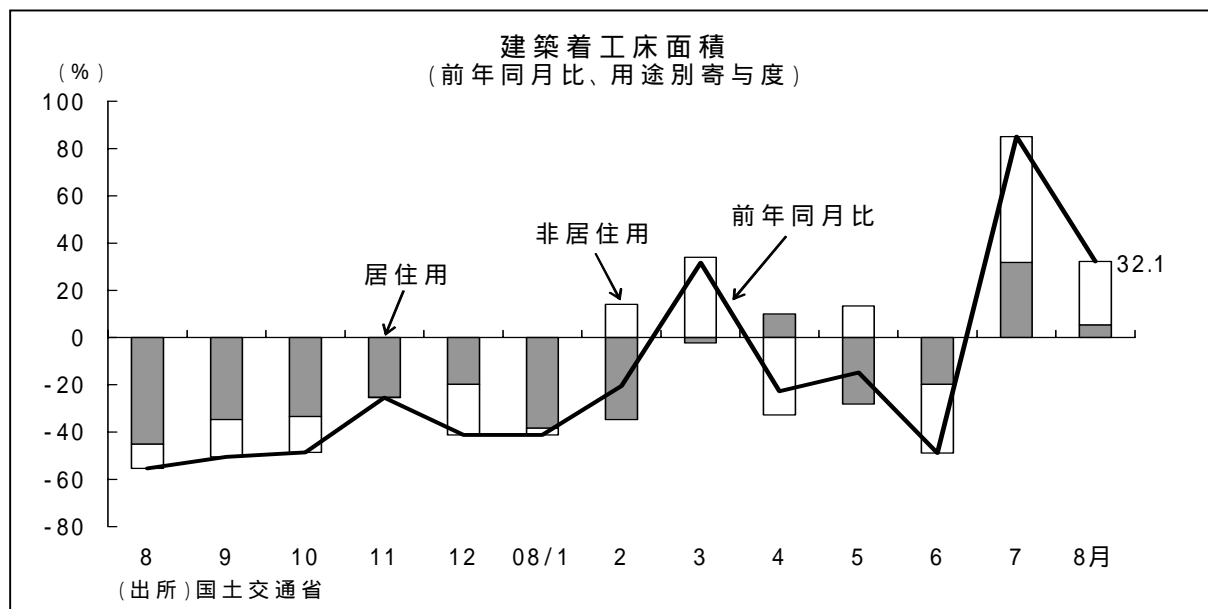
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



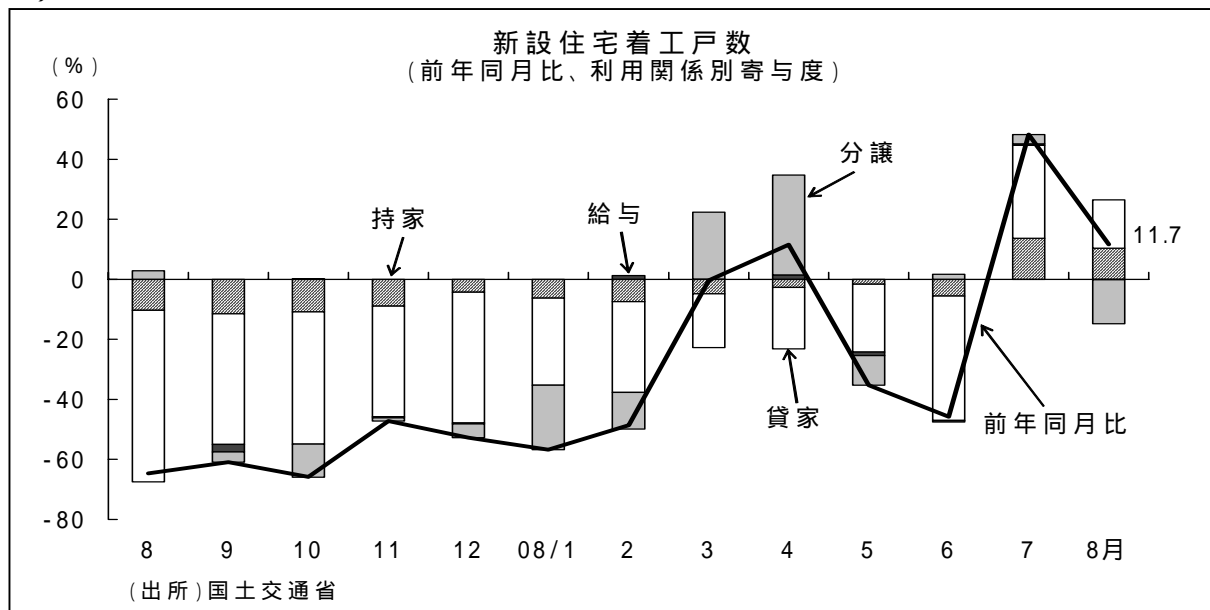
- 公共工事請負金額は、331億4,400万円で前年同月比22.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国(同72.1%増)、県(同22.7%増)、独立行政法人等・その他(同76.2%増)は増加し、市町村(同5.2%減)は減少した。
- 大型工事としては、平成19年度鏡水地区BOX設置(その1)工事、那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)築造工事、新石川浄水場脱水機械設備工事(第1期)などがあつた。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



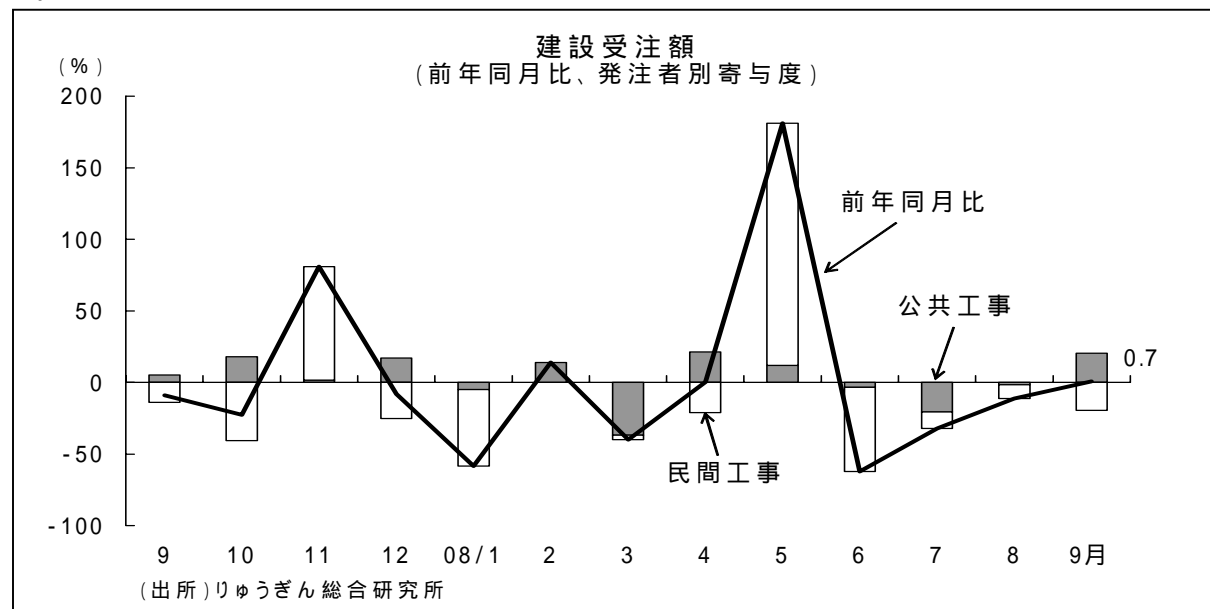
- 建築着工床面積(8月)は、11万266㎡で前年同月比32.1%増と前年の改正建築基準法施行による影響の反動により2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用(同8.4%増)、非居住用(同75.9%増)とも増加した。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用が増加し、非居住用では飲食店・宿泊業用、教育・学習支援業用などが増加した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



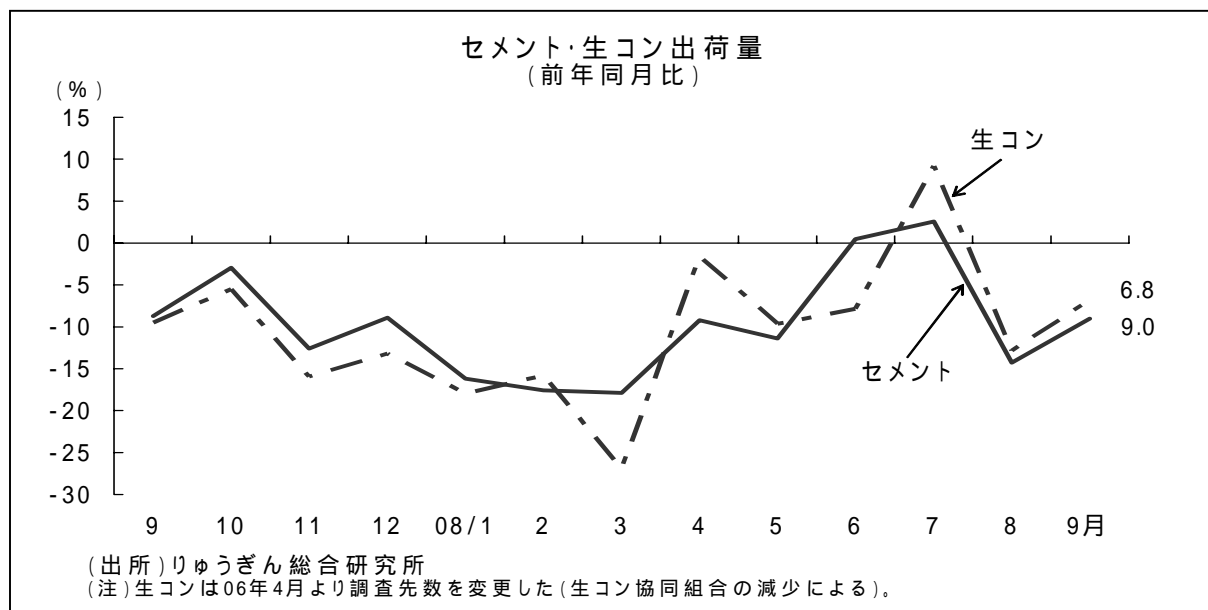
- ・ 新設住宅着工戸数（8月）は 679 戸となり、前年同月比 11.7%増と2カ月連続で前年を上回った。前年の改正建築基準法施行の影響による反動増があったものの、水準は低い。
- ・ 利用関係別では、持家（同 52.1%増）、貸家（同 25.1%増）が増加し、分譲（同 92.7%減）が減少した。

(4) 建設受注額：ほぼ同水準



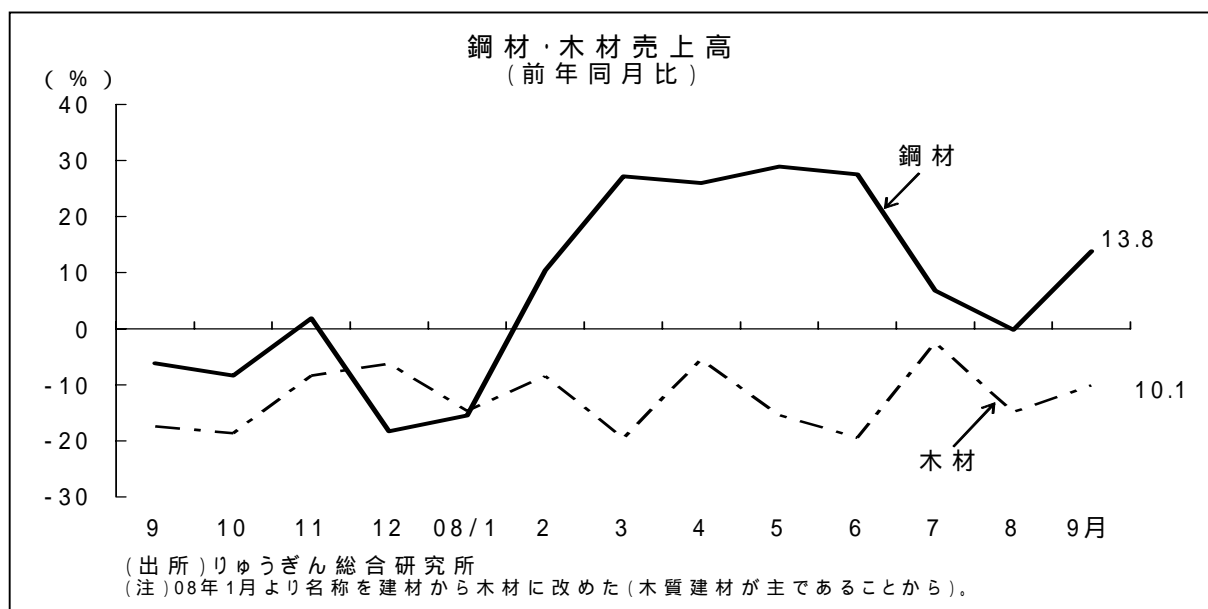
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、前年同月比 0.7%増と同水準となった。
- ・ 発注者別では、公共工事（同 55.1%増）は4カ月ぶりに増加したものの、民間工事（同 31.1%減）は4カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：ともに2カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は、6万398トンで前年同月比9.0%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は、13万4,430立方メートルで同6.8%減と民間工事向け出荷の減少から2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連向けや米軍工事向けなどが増加した。民間工事では、貸家や建売住宅、分譲マンションなどの居住用が改正建築基準法の影響などから引き続き減少した。

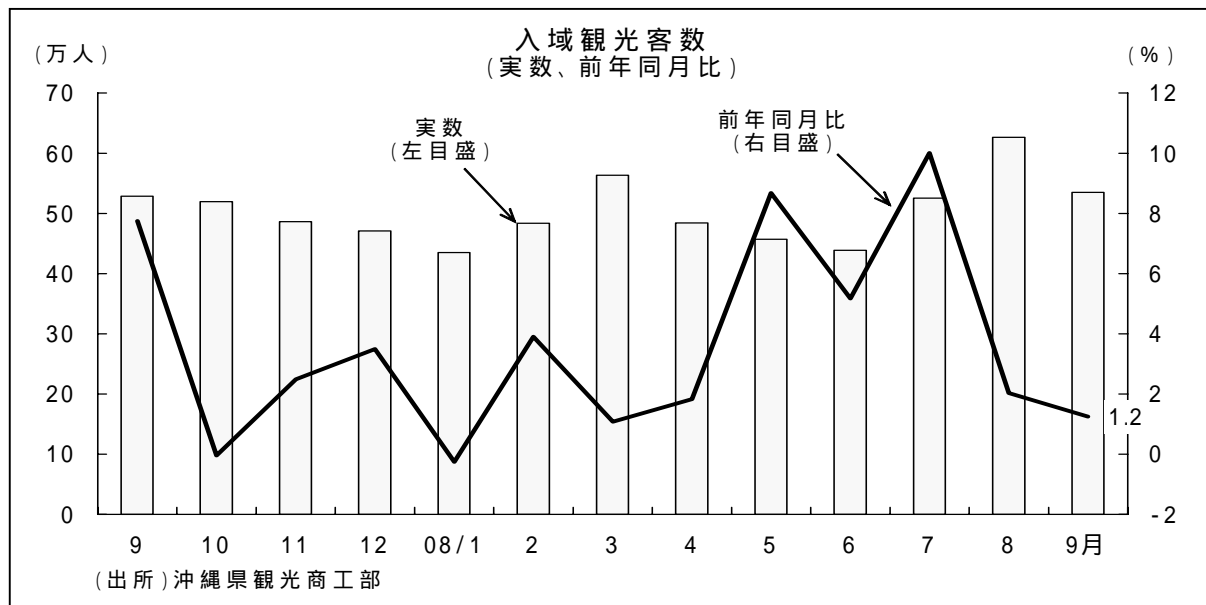
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月ぶりに増加、木材は15カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、販売数量は減少したものの、原材料価格の高騰などによる販売単価が引き続き上昇したことから前年同月比13.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、改正建築基準法の影響などにより貸家や持家向け出荷が引き続き低調なことから同10.1%減と15カ月連続で前年を下回った。

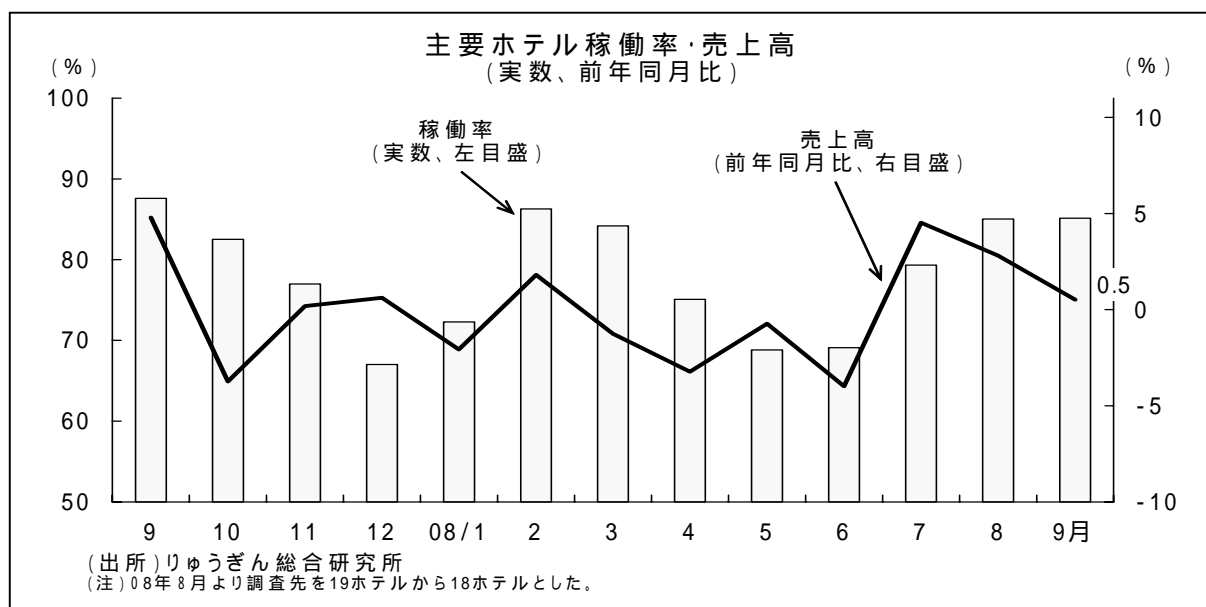
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：8カ月連続で増加



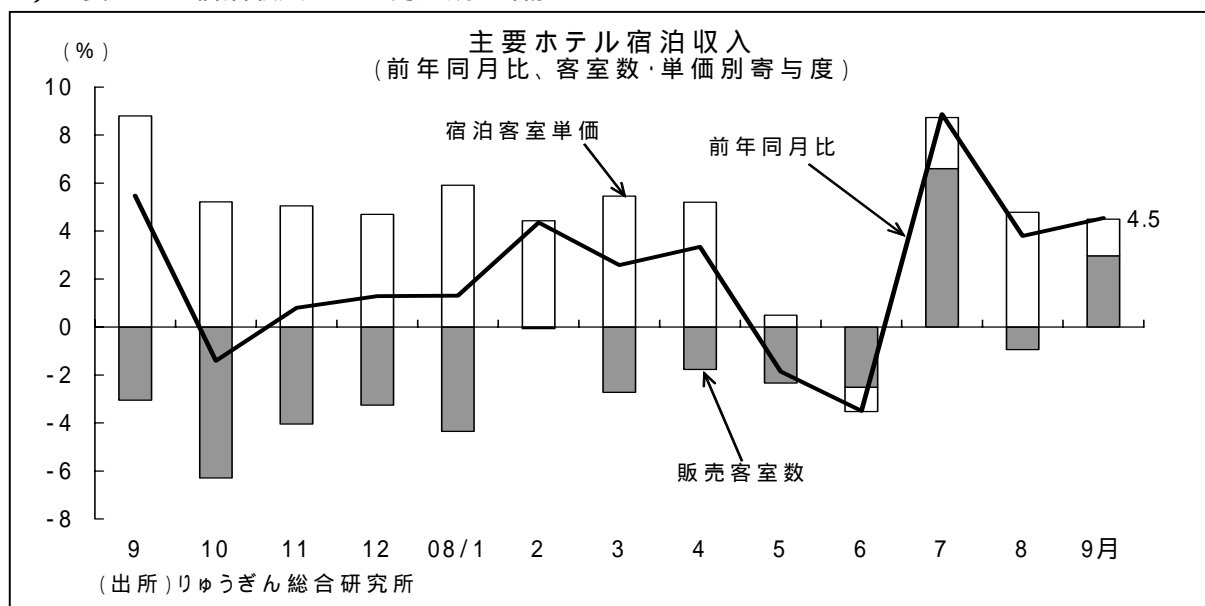
- ・ 入域観光客数は53万5,000人で、前年同月比1.2%増(6,600人増)となり8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 国内客(同0.7%増)は、台風の影響があったものの、5カ月連続で前年を上回った。外国客(同14.6%増)は、香港からの集客が好調に推移し、20カ月連続で前年を上回った。
- ・ 9月1～20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインズを除く)は前年同期比3.2%増となり7カ月連続で前年を上回った。

(2) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は2カ月連続で低下、売上高は3カ月連続で増加



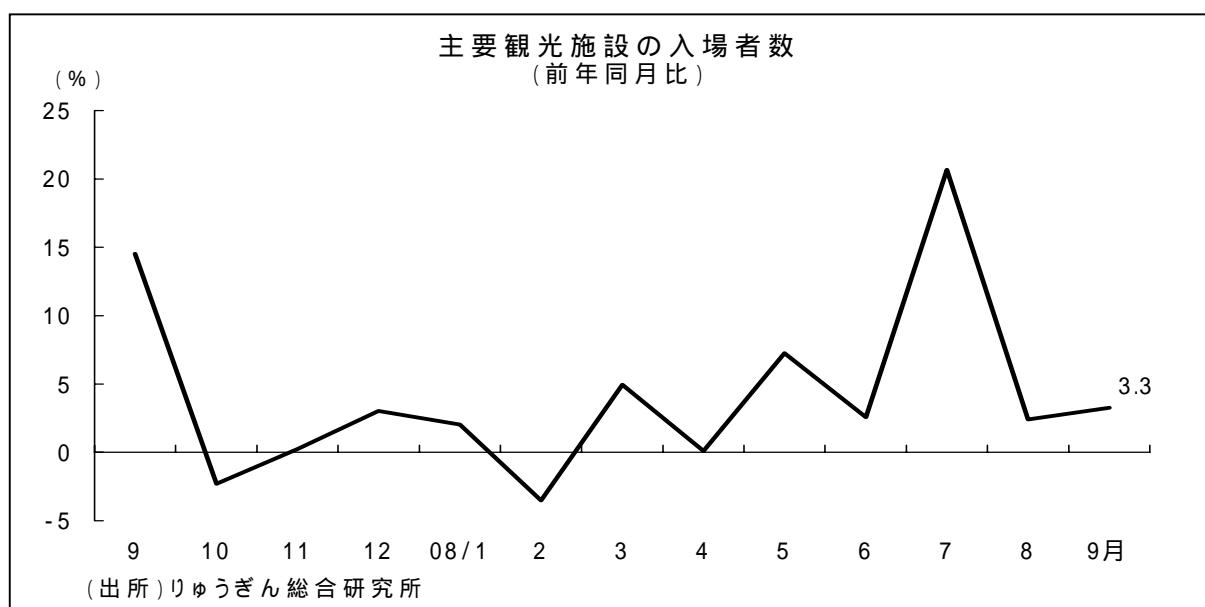
- ・ 主要ホテルの客室稼働率は、85.1%と前年同月比2.2ポイント低下し2カ月連続で前年を下回った。売上高は同0.5%増加し、3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は、75.7%で同6.1ポイント減少した。売上高は、同0.5%増となった。リゾート型ホテルの客室稼働率は、90.8%で同0.1ポイント上昇した。売上高は、同1.2%増となった。

(3) 主要ホテル宿泊収入：3カ月連続で増加



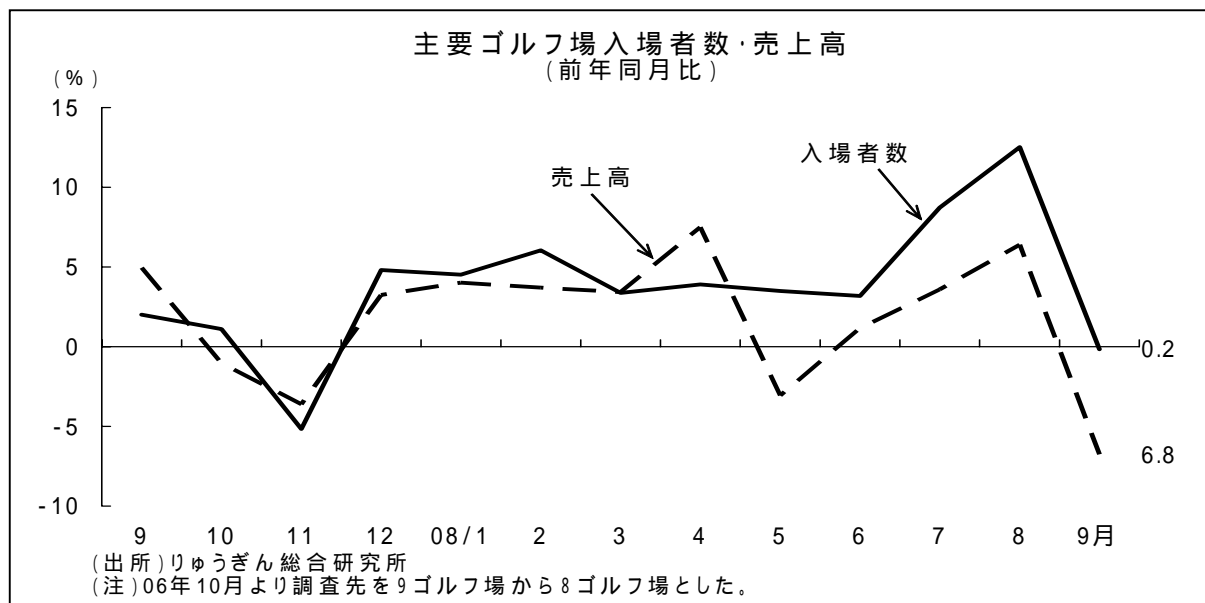
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、販売客室数(数量要因)は2カ月ぶりに増加し、宿泊客室単価(価格要因)が3カ月連続で増加したことから、全体では前年同月比4.5%増となり、3カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要観光施設の入場者数：7カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比3.3%増加し、7カ月連続で前年を上回った。

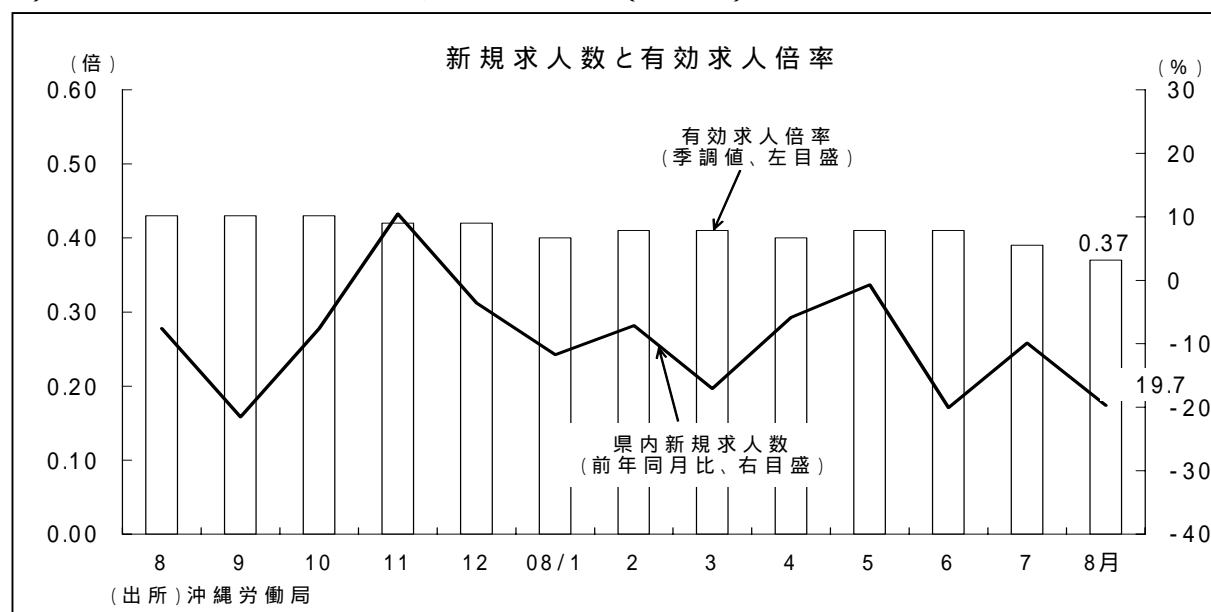
(5) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は10カ月ぶりに減少、売上高は4カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、観光客の入場は引き続き前年より増加しているものの、台風などの影響で全体としては振るわず前年同月比 0.2%減となり、10カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同 6.8%減となり、4カ月ぶりに前年を下回った。

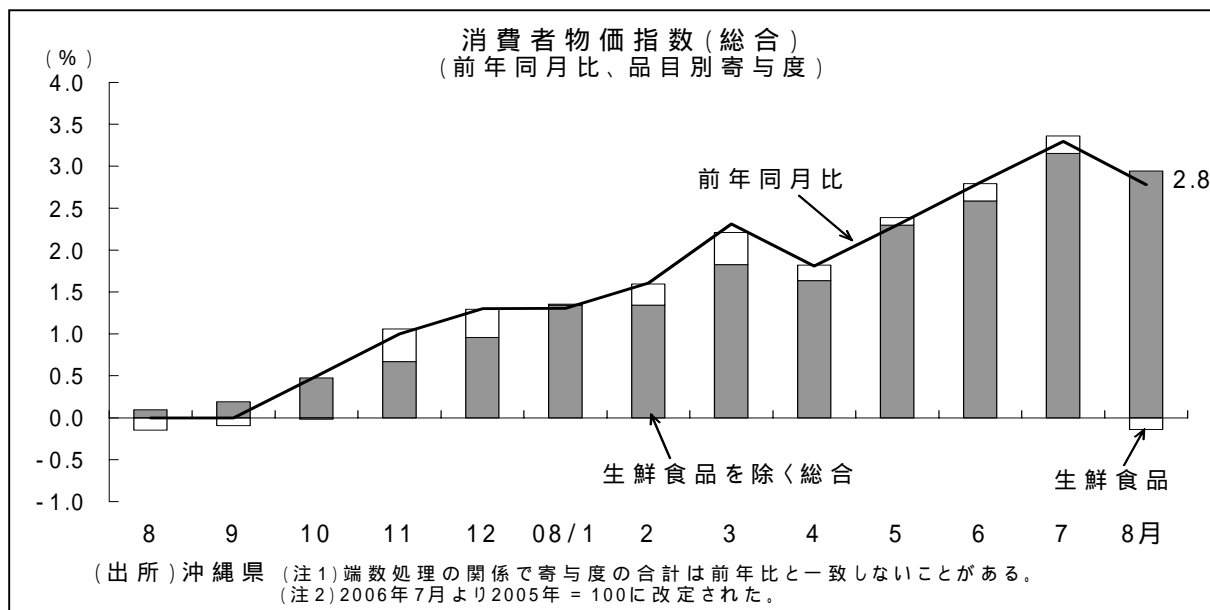
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は低下



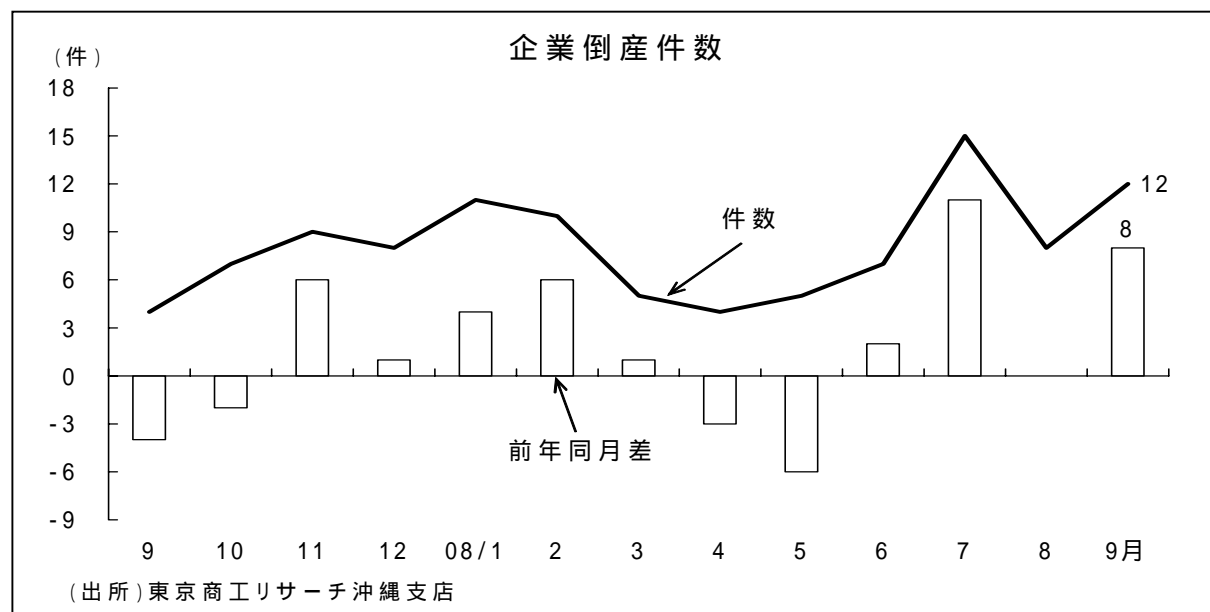
- ・ 新規求人数(8月)は、前年同月比 19.7%減となり9カ月連続で減少した。産業別にみると、建設業、卸売・小売業、飲食店・宿泊業、サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は 0.37倍となり、前月より 0.02ポイント低下した。
- ・ 労働力人口(8月)は、66万3,000人で前年同月比 2%増となり、就業者数は、61万4,000人で前年同月比 2.2%増となった。完全失業者数は4万9,000人で同水準となった。完全失業率は 7.4%と前年同月より 0.1ポイント増となった。

(2) 消費者物価指数(総合): 11カ月連続で上昇



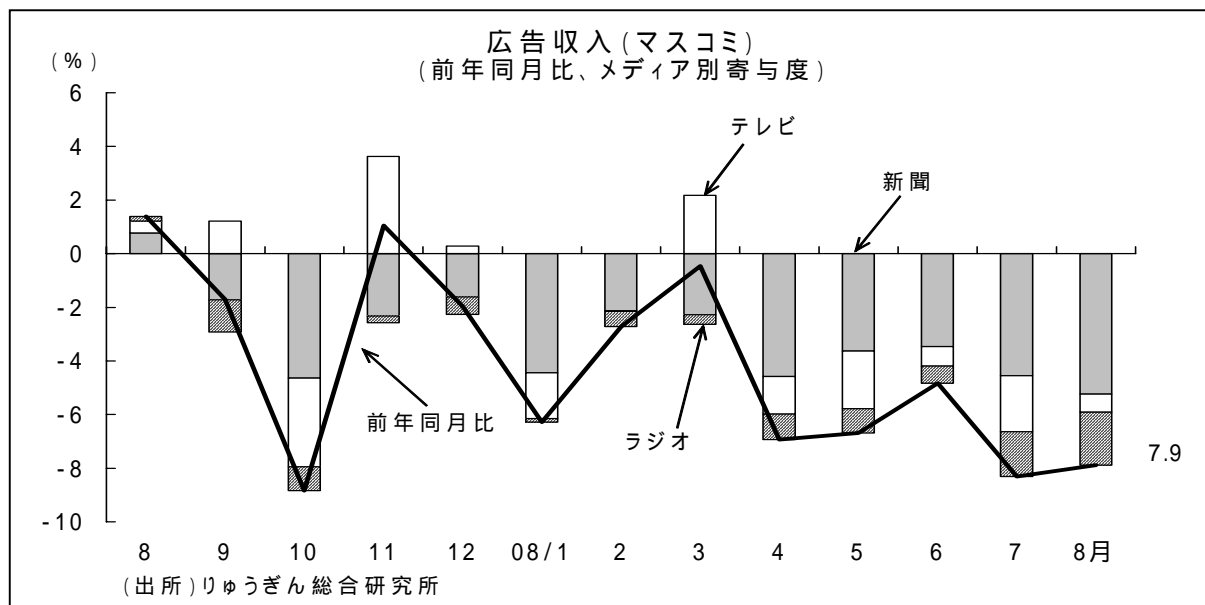
- ・ 消費者物価指数(総合、8月)は、前年同月比 2.8%の上昇となり 11 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も、同 3.1%の上昇となった。
- ・ 品目別の動きをみると、食料、光熱・水道、交通・通信、被服履物、住居などが上昇し、教養娯楽、家具・家事用品が下落した。

(3) 企業倒産: 件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は、12 件となり前年同月を 8 件上回った。業種別では、建設業 8 件(前年同月比 8 件増)、サービス業 3 件(前年と同数)、卸売業 1 件(前年と同数)であった。
- ・ 負債総額は 30 億 3,000 万円となり、大型倒産(負債総額 10 億以上)の発生があったことから、前年同月比 599.8%の増加となった。

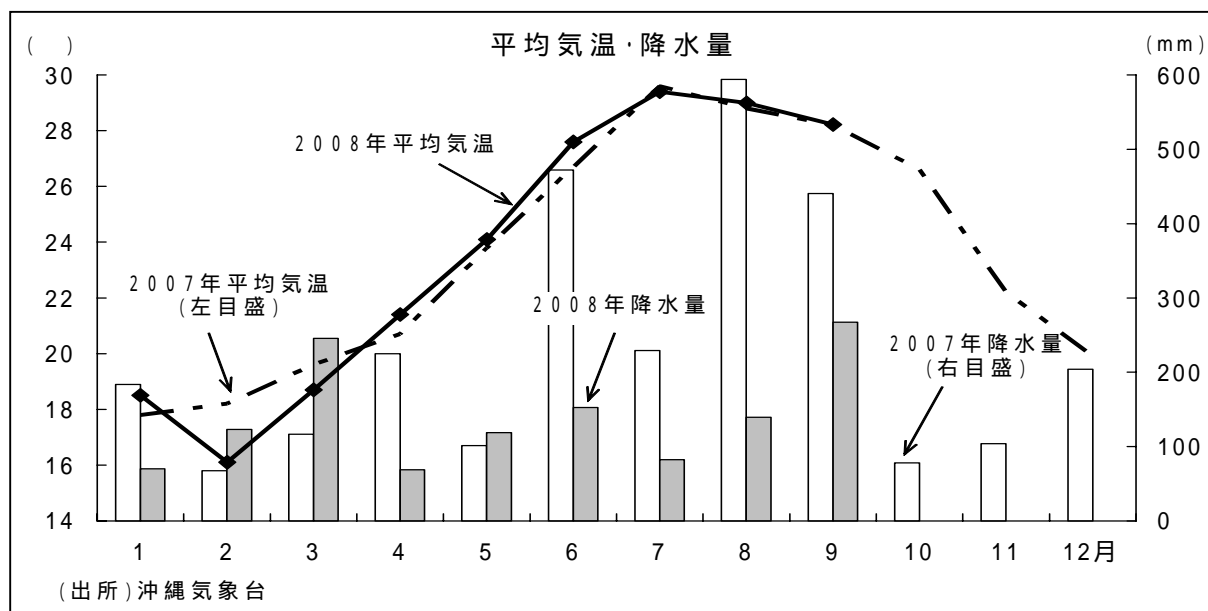
(4) 広告収入(マスコミ): 9カ月連続で減少



- ・ 広告収入(マスコミ: 8月)は、企業関連の広告が減少し前年同月比 7.9%減少し、9カ月連続で前年を下回った。テレビ、新聞、ラジオともに前年を下回った。

(参考)

気象: 平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は 28.2 と前年同月と同水準であった。降水量は 267.5mm と前年同月 (440.5mm) より少なかった。

| | |
|------------------|----|
| 沖縄県内の主要経済指標..... | 17 |
| " 金融統計..... | 19 |

沖縄県内の主要経済指標(その1)

| 暦年 | 百貨店 売上高 | スーパー 売上高 (既存店) | スーパー 売上高 (全店) | 電気製品 卸売額 | 新車販売 台数 | 泡盛 出荷量 | 公共工事請負額 | | 建築着工床面積 | |
|--------|--------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|-----------|------------------|-------|---------|------|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 百万円 | 前年比 | 千平米 | 前年比 |
| 2005 | 1.4 | 1.5 | 1.9 | 3.8 | 8.0 | 4.0 | 270,471 | 4.0 | 1,952.7 | 2.6 |
| 2006 | 0.0 | 0.6 | 1.8 | 5.3 | 5.0 | 2.0 | 242,038 | 10.5 | 2,383.5 | 22.1 |
| 2007 | 0.7 | 0.3 | 2.4 | 0.7 | 3.8 | 3.1 | 263,842 | 9.0 | 1,847.5 | 22.5 |
| 2007 8 | 13.0 | 4.2 | 6.5 | 10.3 | 3.5 | 7.8 | 23,058 | 20.1 | 83.5 | 55.4 |
| 9 | 0.4 | 1.4 | 3.7 | 1.6 | 2.8 | 5.2 | 27,028 | 31.5 | 102.7 | 50.5 |
| 10 | 1.8 | 0.0 | 1.4 | 5.1 | 0.1 | 2.4 | 32,430 | 15.5 | 122.5 | 51.2 |
| 11 | 1.4 | 2.4 | 3.7 | 4.9 | 7.1 | 8.8 | 18,997 | 5.1 | 141.8 | 25.4 |
| 12 | 2.9 | 0.4 | 0.8 | 3.4 | 11.9 | 6.2 | 15,363 | 21.7 | 144.4 | 41.2 |
| 2008 1 | 3.3 | 0.0 | 1.8 | 6.0 | 8.9 | 0.0 | 12,699 | 2.6 | 111.8 | 41.2 |
| 2 | 0.4 | 5.1 | 6.5 | 5.4 | 3.3 | 1.3 | 16,786 | 45.4 | 112.8 | 20.5 |
| 3 | 7.3 | 2.5 | 4.7 | 6.1 | 6.9 | 9.9 | 36,709 | 36.9 | 149.3 | 31.6 |
| 4 | 2.9 | 0.4 | 1.5 | 0.6 | 0.4 | 7.7 | 16,287 | 104.5 | 178.0 | 22.6 |
| 5 | 2.8 | 0.4 | 2.7 | 3.9 | 2.8 | 2.2 | 12,076 | 2.3 | 152.0 | 14.8 |
| 6 | 4.0 | 2.2 | 4.4 | 12.7 | 0.5 | 10.6 | 20,954 | 20.5 | 150.5 | 48.8 |
| 7 | 3.1 | 0.0 | 1.9 | 5.3 | 2.3 | 6.2 | 20,477 | 9.4 | 194.0 | 85.0 |
| 8 | 4.0 | 0.9 | 1.7 | 8.7 | 1.8 | 12.8 | 22,224 | 3.6 | 110.3 | 32.1 |
| 9 | 6.2 | 2.3 | 0.4 | 2.2 | 7.7 | - | 33,144 | 22.6 | - | - |
| 出所 | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 自販協 | 酒造連 | 西日本建設業保証 沖縄支店 | | 国土交通省 | |

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

注) 電気製品卸売販売額は2007年6月より調査先が10社から9社ベースへと変更になったが、07年6～9月は10社ベースとの比較であり、実際より低めに推移したとみられる。07年10月より前年分を修正したため9社ベースでの比較となる。

| 暦年 | 新設住宅着工戸数 | | 建設 受注額 | セメント 出荷数量 | 生コン 出荷数量 | 鋼材 売上高 | 木材 売上高 | 入域観光客数 | | 観光施設 入場者数 |
|--------|----------|------|--------------|--------------|-------------|-----------|-------------------|---------|----------------|--------------|
| | 戸 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 千人 | 前年比 | 前年比 |
| 2005 | 14,503 | 7.4 | 8.3 | 4.4 | 3.9 | 3.0 | 2.6 | 5,500.1 | 6.7 | 0.8 |
| 2006 | 16,266 | 12.2 | 6.8 | 5.0 | 2.2 | 1.3 | 4.7 | 5,636.9 | 2.5 | 7.2 |
| 2007 | 10,876 | 33.1 | 29.4 | 0.6 | 2.1 | 7.0 | 5.1 | 5,869.2 | 4.1 | 5.6 |
| 2007 8 | 608 | 64.6 | 27.6 | 4.9 | 3.2 | 13.5 | 17.4 | 614.2 | 7.9 | 16.7 |
| 9 | 575 | 61.0 | 8.9 | 8.7 | 9.5 | 6.2 | 17.4 | 528.4 | 7.7 | 14.5 |
| 10 | 589 | 65.8 | 22.7 | 3.0 | 5.5 | 27.1 | 18.6 | 519.7 | 0.0 | 2.3 |
| 11 | 506 | 47.2 | 80.8 | 12.6 | 15.9 | 1.9 | 8.4 | 486.3 | 2.5 | 0.2 |
| 12 | 574 | 52.7 | 8.2 | 8.9 | 13.2 | 18.3 | 6.2 | 471.0 | 3.5 | 3.0 |
| 2008 1 | 584 | 56.7 | 58.5 | 16.2 | 17.9 | 15.5 | 14.7 | 434.7 | 0.3 | 2.0 |
| 2 | 521 | 48.6 | 14.0 | 17.6 | 15.8 | 10.4 | 8.5 | 483.8 | 3.9 | 3.5 |
| 3 | 886 | 0.3 | 39.7 | 17.9 | 26.9 | 27.2 | 19.5 | 563.7 | 1.1 | 4.9 |
| 4 | 1,485 | 11.6 | 0.2 | 9.2 | 1.6 | 26.0 | 5.5 | 484.0 | 1.8 | 0.1 |
| 5 | 750 | 35.3 | 181.0 | 11.4 | 9.6 | 28.9 | 15.5 | 456.9 | 8.7 | 7.3 |
| 6 | 866 | 45.8 | 62.2 | 0.5 | 7.9 | 27.5 | 19.4 | 438.8 | 5.2 | 2.6 |
| 7 | 1,009 | 48.2 | 32.0 | 2.6 | 9.2 | 6.8 | 2.5 | 525.4 | 10.0 | 20.7 |
| 8 | 679 | 11.7 | 11.3 | 14.3 | 12.8 | 0.2 | 14.9 | 626.7 | 2.0 | 2.4 |
| 9 | - | - | 0.7 | 9.0 | 6.8 | 13.8 | 10.1 | 535.0 | 1.2 | 3.3 |
| 出所 | 国土交通省 | | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 沖縄県観光商工部 観光企画課 | | りゅうぎん 総合研究所 | |

注) 生コンは2006年4月より調査先数を変更した(生コン協同組合の減少による)。

注) 木材は2008年1月より建材から名称を改めた(木質建材が主であることから)。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

| 暦年 | ホテル稼働率 (実数) | | ホテル売上高 (前年比) | | ゴルフ場 入場者数 | 広告収入 | 鉱工業生産指数 (季調値) | | 電力使用量 | |
|--------|----------------|------|-----------------|------|--------------|------|------------------|------|---------|-----|
| | 市内 | リゾート | 市内 | リゾート | 前年比 | 前年比 | 2000年=100 | 前年比 | 百万KW | 前年比 |
| 2005 | 79.3 | 78.3 | 2.9 | 3.2 | 5.9 | 0.3 | 87.0 | 5.1 | 3,283 | 3.8 |
| 2006 | 78.9 | 78.6 | 2.7 | 3.4 | 5.8 | 2.0 | 84.2 | 3.2 | 3,316 | 1.0 |
| 2007 | 77.7 | 80.2 | 1.1 | 2.7 | 1.8 | 2.0 | 82.7 | 2.4 | 3,385 | 2.1 |
| 2007 8 | 84.4 | 94.0 | 1.5 | 6.6 | 1.1 | 1.4 | 87.0 | 6.7 | 376 | 3.4 |
| 9 | 81.8 | 91.7 | 2.9 | 2.1 | 2.0 | 1.7 | 81.8 | 4.9 | 360 | 0.2 |
| 10 | 78.3 | 85.7 | 10.4 | 0.3 | 1.1 | 8.8 | 80.5 | 4.2 | 333 | 3.5 |
| 11 | 79.4 | 74.8 | 3.8 | 3.5 | 5.2 | 1.0 | 76.0 | 10.1 | 314 | 4.8 |
| 12 | 69.9 | 64.6 | 0.7 | 0.5 | 4.8 | 2.0 | 78.5 | 8.9 | 248 | 1.5 |
| 2008 1 | 73.0 | 71.7 | 5.1 | 0.3 | 4.5 | 6.3 | 81.1 | 6.5 | 238 | 0.4 |
| 2 | 86.0 | 86.5 | 1.6 | 4.6 | 6.1 | 2.7 | 79.6 | 9.8 | 223 | 1.9 |
| 3 | 81.4 | 86.5 | 5.7 | 1.9 | 3.4 | 0.5 | 84.1 | 3.9 | 212 | 2.8 |
| 4 | 69.0 | 79.7 | 7.4 | 1.2 | 3.9 | 6.9 | 80.8 | 2.9 | 230 | 3.0 |
| 5 | 60.0 | 74.7 | 2.2 | 3.2 | 3.5 | 6.7 | 81.6 | 3.4 | 244 | 2.6 |
| 6 | 62.4 | 73.6 | 9.4 | 1.4 | 3.2 | 4.8 | 83.4 | 2.8 | 288 | 0.7 |
| 7 | 67.4 | 87.3 | 6.6 | 4.0 | 8.7 | 8.3 | 83.0 | 7.6 | 340 | 2.3 |
| 8 | 77.1 | 90.6 | 3.8 | 2.6 | 12.5 | 7.9 | - | - | 379 | 1.0 |
| 9 | 75.7 | 91.8 | 1.2 | 1.2 | 0.2 | - | - | - | - | - |
| 出所 | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | | | 県企画部統計課 | | 電気事業連合会 | |

注) ゴルフ場は、2006年10月より調査先を9ゴルフ場から8ゴルフ場とした。

注) ホテルは、2008年8月より調査先を19ホテルから18ホテルとした。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。

| 暦年 | 企業倒 産件数 | 負債総額 | | 消費者 物価指数 | 失業率 (未季調値) | 就業者数 | 有効求人 倍率 (季調値) | 新規 求人数 (県内) | 通関輸出 | 通関輸入 |
|--------|--------------|--------|----------|-------------|---------------|------|---------------------|-------------------|---------|---------|
| | 件 | 百万円 | 前年比 | 前年比 | % | 前年比 | 倍 | 前年比 | 百万円 | 百万円 |
| 2005 | 80 | 57,269 | 67.6 | 0.3 | 7.9 | 0.5 | 0.43 | 10.6 | 74,608 | 210,046 |
| 2006 | 83 | 48,250 | 15.7 | 0.0 | 7.7 | 0.2 | 0.46 | 5.6 | 111,241 | 240,970 |
| 2007 | 78 | 10,610 | 78.0 | 0.2 | 7.4 | 0.8 | 0.42 | 10.6 | 59,578 | 198,113 |
| 2007 8 | 8 | 720 | 79.9 | 0.0 | 7.5 | 0.0 | 0.43 | 7.6 | 3,259 | 24,244 |
| 9 | 4 | 433 | 70.1 | 0.0 | 7.6 | 0.5 | 0.43 | 21.5 | 7,551 | 16,152 |
| 10 | 7 | 983 | 61.8 | 0.5 | 7.2 | 0.2 | 0.43 | 7.6 | 2,284 | 14,891 |
| 11 | 9 | 614 | 101.3 | 1.0 | 6.5 | 0.3 | 0.42 | 10.5 | 6,799 | 20,768 |
| 12 | 8 | 1,710 | 93.3 | 1.3 | 6.8 | 2.5 | 0.42 | 3.6 | 6,172 | 13,633 |
| 2008 1 | 11 | 800 | 8.8 | 1.3 | 7.0 | 3.8 | 0.40 | 11.7 | 6,163 | 20,467 |
| 2 | 10 | 1,413 | 371.0 | 1.6 | 7.1 | 2.6 | 0.41 | 7.1 | 6,886 | 13,150 |
| 3 | 5 | 2,280 | 545.9 | 2.3 | 7.0 | 2.8 | 0.41 | 17.1 | 17,583 | 16,869 |
| 4 | 4 | 640 | 59.0 | 1.9 | 6.5 | 1.9 | 0.40 | 5.8 | 8,464 | 24,985 |
| 5 | 5 | 1,380 | 26.7 | 2.1 | 7.6 | 0.2 | 0.41 | 0.7 | 5,606 | 18,342 |
| 6 | 7 | 2,960 | 69.1 | 2.8 | 8.4 | 1.8 | 0.41 | 20.1 | 5,836 | 25,692 |
| 7 | 15 | 50,689 | 13,902.5 | 3.3 | 7.9 | 3.0 | 0.39 | 9.9 | 2,424 | 28,967 |
| 8 | 8 | 6,950 | 865.3 | 2.8 | 7.4 | 2.2 | 0.37 | 19.7 | 7,431 | 34,724 |
| 9 | 12 | 3,030 | 599.8 | - | - | - | - | - | 8,821 | 16,843 |
| 出所 | 東京商工リサーチ沖縄支店 | | | 県企画部統計課 | | | 沖縄労働局 | | 沖縄地区税関 | |

注) 有効求人倍率は、2005年12月以前は新季節調整値により改訂された。

注) 消費者物価指数は、2006年7月より2005年 = 100に改定された。

沖縄県内の金融統計

| 年度 | 銀行券 発行額 | 銀行券 還収額 | 銀行券 増減 (還収 超) | 貸出金利 (地銀3行) | 手形交換高(金額は億円) | | | | 不渡実数 (金額) | 不渡 発生率 |
|--------|------------|------------|------------------------|----------------|--------------|------|-------|------|--------------|-----------|
| | 億円 | 億円 | 億円 | 月末% | 千枚 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 百万円 | % |
| 2005FY | 3,359 | 4,606 | 1,309 | 2.622 | 471 | 13.9 | 7,998 | 6.7 | 1,583 | 0.198 |
| 2006FY | 3,516 | 4,863 | 1,334 | 2.637 | 432 | 8.3 | 7,655 | 4.3 | 2,850 | 0.372 |
| 2007FY | 3,290 | 4,945 | 1,393 | 2.560 | 408 | 5.7 | 6,474 | 15.4 | 1,226 | 0.255 |
| 2007 8 | 276 | 421 | 144 | 2.609 | 35 | 5.2 | 574 | 10.5 | 91 | 0.159 |
| 9 | 259 | 391 | 131 | 2.578 | 29 | 8.4 | 491 | 13.7 | 28 | 0.056 |
| 10 | 271 | 425 | 181 | 2.581 | 38 | 3.4 | 578 | 10.1 | 70 | 0.120 |
| 11 | 265 | 391 | 125 | 2.573 | 33 | 8.2 | 470 | 19.6 | 82 | 0.174 |
| 12 | 579 | 157 | 422 | 2.560 | 30 | 15.7 | 411 | 32.4 | 58 | 0.142 |
| 2008 1 | 117 | 697 | 580 | 2.556 | 34 | 5.6 | 492 | 16.3 | 124 | 0.322 |
| 2 | 325 | 394 | 68 | 2.555 | 32 | 8.4 | 438 | 22.0 | 109 | 0.330 |
| 3 | 285 | 399 | 113 | 2.518 | 32 | 7.2 | 517 | 18.5 | 196 | 0.379 |
| 4 | 286 | 337 | 51 | 2.543 | 32 | 5.2 | 519 | 14.8 | 86 | 0.165 |
| 5 | 211 | 477 | 266 | 2.540 | 29 | 28.1 | 438 | 38.9 | 201 | 0.485 |
| 6 | 285 | 344 | 58 | 2.536 | 34 | 7.3 | 521 | 6.4 | 316 | 0.607 |
| 7 | 279 | 385 | 105 | 2.535 | 32 | 15.5 | 486 | 29.2 | 312 | 0.643 |
| 8 | 249 | 397 | 148 | 2.535 | 27 | 24.2 | 398 | 30.6 | 292 | 0.733 |
| 9 | - | - | - | 2.532 | 32 | 9.4 | 519 | 5.7 | 313 | 0.603 |
| 出所 | 日本銀行那覇支店 | | | | 那覇手形交換所 | | | | | |

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

| 年度 | 地銀3行預金量 (信託勘定含む未残) | | 郵便貯金 (未残) | | 地銀3行融資量 (信託勘定含む未残) | | 沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残) | | 沖縄県信用保証協 会債務残高 | |
|--------|-----------------------|-----|--------------|-----|-----------------------|-----|---------------------------|-----|-------------------|-----|
| | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 |
| 2005FY | 30,548 | 0.6 | 8,559 | 7.4 | 23,921 | 2.0 | 13,067 | 7.7 | 1,313 | 7.5 |
| 2006FY | 31,604 | 3.5 | 7,875 | 7.9 | 25,123 | 5.0 | 12,393 | 5.2 | 1,273 | 3.0 |
| 2007FY | 32,249 | 2.0 | - | - | 26,593 | 5.9 | 11,671 | 5.8 | 1,219 | 4.3 |
| 2007 8 | 30,899 | 2.8 | - | - | 24,331 | 5.6 | 12,064 | 4.3 | 1,142 | 8.0 |
| 9 | 31,356 | 2.3 | - | - | 24,914 | 5.1 | 12,059 | 4.2 | 1,148 | 7.8 |
| 10 | 30,691 | 2.9 | - | - | 24,705 | 6.0 | 11,988 | 4.3 | 1,165 | 6.5 |
| 11 | 31,051 | 2.6 | - | - | 24,944 | 6.7 | 11,933 | 4.2 | 1,164 | 5.8 |
| 12 | 31,282 | 3.2 | - | - | 25,365 | 7.2 | 11,818 | 4.4 | 1,188 | 5.3 |
| 2008 1 | 30,895 | 3.2 | - | - | 25,384 | 7.4 | 11,753 | 4.4 | 1,188 | 4.2 |
| 2 | 30,972 | 2.7 | - | - | 25,467 | 5.8 | 11,686 | 4.6 | 1,186 | 4.2 |
| 3 | 32,249 | 2.0 | - | - | 26,593 | 5.9 | 11,671 | 5.8 | 1,219 | 4.3 |
| 4 | 31,990 | 2.1 | - | - | 25,624 | 5.1 | 11,617 | 5.8 | 1,183 | 5.0 |
| 5 | 31,914 | 3.0 | - | - | 25,648 | 6.0 | 11,523 | 6.1 | 1,152 | 2.8 |
| 6 | 32,819 | 2.9 | - | - | 25,629 | 6.0 | 11,303 | 7.4 | 1,152 | 1.8 |
| 7 | 32,172 | 3.8 | - | - | 25,677 | 5.6 | 11,251 | 7.3 | 1,173 | 3.8 |
| 8 | 32,103 | 3.9 | - | - | 25,762 | 5.9 | 11,195 | 7.2 | 1,186 | 3.9 |
| 9 | 32,155 | 2.5 | - | - | 26,109 | 4.8 | 11,270 | 6.5 | - | - |
| 出所 | 琉球銀行 | | 日本銀行那覇支店 | | 琉球銀行 | | 沖縄振興開発金融 公庫 | | 沖縄県信用保証協会 | |